

起業応援ルーム
芽でるネット

「芽でるネット」は『女性』の起業と就労を応援する専用ルームです。
『女性』の起業・就労活動を応援することで、女性の社会的・経済的自立を段階的に支援することを目的としています。

令和6年度「芽でるネット」事業年間計画（予定）	
7月27日（土）	SNS活用講座
11月	就労支援講座
11月～R7.2月	女性起業芽でる塾

● Instagramで集客 ビジネス活用講座

日時：7月27日（土）10：00～12：00
場所：プラザおでって 大会議室（プラザおでって3階）
内容：Instagramで集客するために事業内容を整理し、効果的な発信方法を学びます。
対象：Instagramの投稿経験がある、起業を目指している女性・起業している女性
定員：30人
受講料：500円
講師：大森 真菜美さん（BOKUSUL代表）
託児：子ども一人につき500円（6か月から未就学児）
先着3人 要申込
申込：7月4日（木）10：00～
申込フォームまたは電話（019-604-3303）にて受付



＼申込はこちら／

芽でるネットのできること

- ① 図書の閲覧・貸出
（どなたでもご利用可能）
- ② コワーキングスペースの貸出
- ③ パソコン貸出（1回100円）
- ④ パソコン個別サポート（1回300円）
- ⑤ 起業・就労のご相談
- ⑥ 出店体験スペース貸し（1か月4回まで）
※ ②～⑥は事前予約制です。

最新情報は、Instagramをチェック▶

事業のお知らせの他にもお部屋の様子や出店体験のスケジュールなどを投稿しております。
是非フォローして情報をGETしてください。



起業応援ルーム 芽でるネット

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって1階
電話（019）604-3303
開室日時 月曜日～金曜日 10：00～12：00／14：00～17：00
休室日 土日祝、毎月第2火曜日、年末年始

相談

受付電話 **019-604-3304** 相談開設時間 月・火・金 10：00～17：00
水・木 10：00～20：00
相談は無料です。秘密はかたく守ります。

●女性相談

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。電話相談と面接相談があります。（予約の方優先）
また、メール相談も受け付けます。ホームページの相談フォームから

●男性相談

男性の相談員による面接相談。予約が必要です。電話相談のみ。予約が必要です。原則毎月第2土曜日に実施予定です。場所などの詳細はホームページでご確認ください。

●LGBT相談

女性限定 お気軽にお立ち寄りください♪
ウィメンズサロン・ゆるり
気軽におしゃべりしたい方も
静かに自分の時間を過ごしたい方も
すこしだけ日常から離れて落ち着ける場所
毎月第4水曜日
17：00～19：00
プラザおでって1階
起業応援ルーム 芽でるネット



アンケートにご協力ください

もりおか女性センターニュースレターでは、今後のより良い紙面づくりのため、アンケートを実施しています。ご意見、ご感想、取り上げてほしいテーマなど、Googleフォームにてお受けいたします。

発行日：令和6年6月10日

発行：もりおか女性センター

（指定管理者：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて）

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10プラザおでって5階
電話番号（019）604-3303 FAX（019）601-4031
開館時間 月曜日～金曜日 9：00～21：30（土日祝17：00まで）
休館日 毎月第2火曜日、年末年始



最新の情報は
ホームページから！



事業のご案内、スタッフのつぶやき...



X (IBTwitter)



Instagram

もりおか女性センター 2024年度事業テーマ「チェンジ！誰もが自分らしく生きる未来へ」

もりおか女性センター

ニュースレター

News Letter

Nº108

2024.6

特集

男女共同参画週間

2024.6.23～29

ジェンダー平等に
ついて考える。

学ぶ

学習・研修の機会の場合

出会う・力をつける

活動促進・交流の場合

悩み・考える

女性相談

考え究める

調査・研究事業

知る

情報提供・収集場所

もりおか女性センターは、
女性の自立と社会参画を支援するとともに
男女共同参画を推進する拠点です。



センター長挨拶



令和6年度は、もりおか女性センターの指定管理5期1年目として再スタートいたします。センター事業テーマを「チェンジ！誰もが自分らしく生きる未来へ」として、新しく事業の企画が動き出します。また、市民の方々のご意見等も反映させつつ、多くの方々にご利用いただける施設として、さらに運営を充実してまいりたいと考えております。

世界に目を向けますと、戦争や紛争、気候変動によるさまざまな自然災害など、心の痛む事象が多く発生しています。このような現実の中で私たちは何ができるのか・・・。先ごろお亡くなりになられた赤松良子さんをはじめ先輩たちの熱い意思を受け継ぎながら、また、女性の参政権獲得に尽力された市川房枝さんの「平和なくして平等なく、平等なくして平和なし」という信念を基に、実質的な平等を実現していくことが大切かと思っております。

多様性を尊重し合い一人ひとりが力を発揮できる男女共同参画とジェンダー平等社会の実現を推進していくために、スタッフ一丸となって取り組んでまいります。

令和6年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。もりおか女性センター センター長 高橋和佳子

2024
6.23~6.29
男女共同参画週間



男女共同参画社会基本法の制定を記念し、国では、平成12年より6月23日からの1週間を「男女共同参画週間」と定めています。

それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、政府や地方公共団体だけでなく、1人ひとりの取り組みが必要です。「男女共同参画」について、この機会に考えてみませんか？

日本と岩手県の現状を、ジェンダー・ギャップ指数で見よう

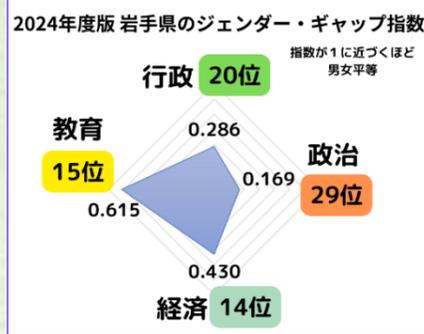
日本



ジェンダー・ギャップ指数とは、男女間の政治・経済・教育・健康における平等を評価し各国の男女の格差を数値化したもので、世界経済フォーラムが毎年公表しています。指数が大きいほど男女格差は小さく、男女共同参画が進んでいて男女平等に近いと言えます。

岩手県

教育分野で前年より大幅にランクアップ。経済分野では共働き家庭の家事育児時間の男女格差が比較的小さいのが特徴です。



一方、政治、行政分野でのスコアは低くなっています。県の管理職や審議会の委員といった行政分野でさらなる改善が必要であり、政治の女性参画が今後の課題となっています。

引用：都道府県版ジェンダー・ギャップ指数（地域からジェンダー平等研究会）

男女共同参画社会の実現には固定化されたジェンダー・ステレオタイプの解消に取り組む必要があります。

ジェンダー・ステレオタイプという言葉をご存知ですか？

ジェンダー・ステレオタイプとは社会に広く浸透している「男性」と「女性」それぞれに対して人々が共有する、固定的な思いこみ（信念）やイメージのことです。

「男は仕事、女は家庭」といった、性別だけを理由とした「固定的な性別役割分担意識」もそのひとつで、知らず知らずのうちに形成されるので、自分では気づきにくいものです。

女性が政治や経済、地域社会で活躍することを躊躇する背景には、ジェンダー・ステレオタイプが大きな影響を及ぼしています。

もりおか女性センターでは、男女共同参画社会の実現を目指してさまざまな事業を展開しています。6月は、男女共同参画週間に合わせて「もりおか展2024」「ジェンダー論講座」を開催。

みなさまのお申し込みをお待ちしています♪

男女共同参画についてさらに学びたい方はこちら！

ジェンダー論講座

ルック アット モヤモヤ 『LOOK at MOYAMOYA!!』

男女共同参画の基礎知識を学びながら、現状と課題を整理し、ジェンダーギャップを埋めるためにはどうしたらよいかを考える講座です。（全3回）

日常の中に潜むモヤモヤとどう向き合っていけばよいか、自分らしく生きるヒントを仲間と一緒に考えます。



- | | |
|-----------------|----------------------|
| 会場 | 日時 |
| ①おでってホール | ①6/16(日) 14:00~16:00 |
| ②・③SAIEN COFFEE | ②6/22(土) 9:30~11:30 |
| | ③6/29(土) 9:30~11:30 |

内容

- ①もりおか展・ミニ講座
- ②講義・グループワーク
講師：渡部あさみさん
(岩手大学人文社会科学部准教授)
- ③講義・グループワーク
講師：高橋和佳子
(もりおか女性センター センター長)



対象・定員：テーマに関心のある女性15人
(全ての回に参加できる方優先) 申込フォーム

申込：5/18(土) 10:00~
申し込みフォームまたは電話 (019-604-3303) にて先着順に受付

生産年齢人口と少子高齢化

生産年齢人口とは、生産活動を中心となって支える15~64歳の人口のこと。労働の中核的な担い手として経済に活力を生み出す一方、社会保障を支える存在でもあります。

日本の総人口は、2008年にピークを迎えて以降、減少に転じており、今後も減少傾向は継続すると見込まれています。特に問題とされているのが経済活動の中心を担う生産年齢人口の減少であり、その背景にあるのが少子高齢化の進展です。

2016年の出生数は推計で98万1000人となり、統計開始以来初めて100万人割れとなりました。2015年に26.7%であった高齢化率は2060年には39.9%にまで上昇し、2.5人に1人が高齢者になる社会が到来するとされています。

盛岡市の人口に占める割合は、2020年には生産年齢人口が57.9%、老年人口が27.6%となっています。

出典：盛岡市「盛岡市人口ビジョン」

男女共同参画週間

もりおか展2024

男女共同参画を知る最初の一歩として、自分らしさとは何なのか一緒に考えてみませんか？



講演会 見つけよう！
わたしにとってのスタンダード ~未来に備えて

講師 矢野 智美さん

(株式会社ヘラルボニー岩手コミュニティマネージャー)

今年度のもりおか展は、株式会社ヘラルボニー岩手コミュニティマネージャーの矢野智美さんをお迎えして、これまでのご自身の仕事の経験や岩手での活動を通し、壁が立ちちはだかった時の向き合い方や、自分らしい生き方についてお話をさせていただきます。

さらに後半の対談では、岩手大学人文社会科学部准教授の渡部あさみさんを交え、仕事・家庭・育児・介護などに関する日常のモヤモヤをテーマにトークを展開していきます！

「人口減少社会・少子高齢化とジェンダー」に焦点を当て、少子化とジェンダー問題の関係を題材にした掲示物も展示予定です。

対談 矢野 智美さん × 渡部 あさみさん (岩手大学人文社会科学部准教授)

日時：6月16日(日) 14:00~15:30 (受付13:30~)

会場：おでってホール (プラザおでって3F)

対象・定員：どなたでも 100人

申込：5/18(土) 10:00~申し込みフォームまたは電話 (019-604-3303) にて先着順に受付



申込フォーム

もりおか女性センターを利用されている市民団体を紹介します！

今回は、「いわてレインボーマーチ」共同代表 山本ゆき子さんにお話を伺いました！

Q「いわてレインボーマーチ」発足のきっかけは？

「MARCH THIS WAY」をスローガンに「岩手で多様な生き方を選択可能にし、自分らしく生きる人を増やす」ことを目的として活動を始めました。

LGBTQ+だけでなく、様々な社会的マイノリティの本来持っている力や個性を発揮できるように、また、これまでの環境から受けた比較や暴力からの影響を取り除いていくため、プライドマーチの開催、講演会や交流会などを通して、社会に働きかけています。



人生100年時代を迎え、家族の姿は変化し、人生は多様化しています。

未来を担う若い世代が、理想とする生き方、働き方を実現できる社会を作ることこそが、今後の男女共同参画社会の形成の促進において重要とされています。

男女ともに「自分の希望が満たされ、能力を最大限に発揮して仕事ができる環境の整備」と「仕事と家事・育児等のバランスが取れた生活を送ることができること」が重要であり、男女間賃金格差が性別役割分担を固定化する要因となり得ることからも、女性の経済的自立を後押しする必要があります。

人生が多様化する中で、全ての人が希望に
応じて、家庭でも仕事でも活躍できる男女共同参画社会の実現を目指していきましょう。

入場料無料

Q 活動を通して感じる“モヤモヤ”について教えてください。

- ・噂話がコミュニケーションの一部となっている地方にあって、アウティングが日常的に行われていると感じる時
- ・初対面なのにいきなりセクシュアリティを尋ねてくる人に会った時
- ・すべての人が「恋愛をする異性愛者」という前提で話をされた時…等にモヤモヤを感じます。

Q「IWATE RAINBOW MARCH」はどんなイベントですか？

一般的にLGBTQ+に対する差別や偏見に反対し、セクシュアリティやジェンダーの多様性を祝うプライドマーチ/パレードですが、岩手などの東北地方では未だその存在すら認識されていないこともあり、LGBTQ+当事者や、その人達の困難を理解し支援するアライの可視化、社会の側にある問題の提起なども、その開催理由に含まれます。

当日は、地元岩手をレインボーの旗を振って歩けない人たちの思いと一緒にマーチします。県内外の多くの方にご参加いただき、参加者みんなでレインボーの旗を振りながら、盛岡の街を歩きます。毎年、沿道からも、車の中からも、手を振ってくださる方たちの笑顔を見て幸せな気持ちになります。